



第21回りゅうぎん紅型デザインコンテスト 大賞  
「森を生きる」新垣 優香

# りゅうぎん決算発表

平成25年3月期



# トップライン収益



預貸金収支の改善によりコア業務純益は9億円増加

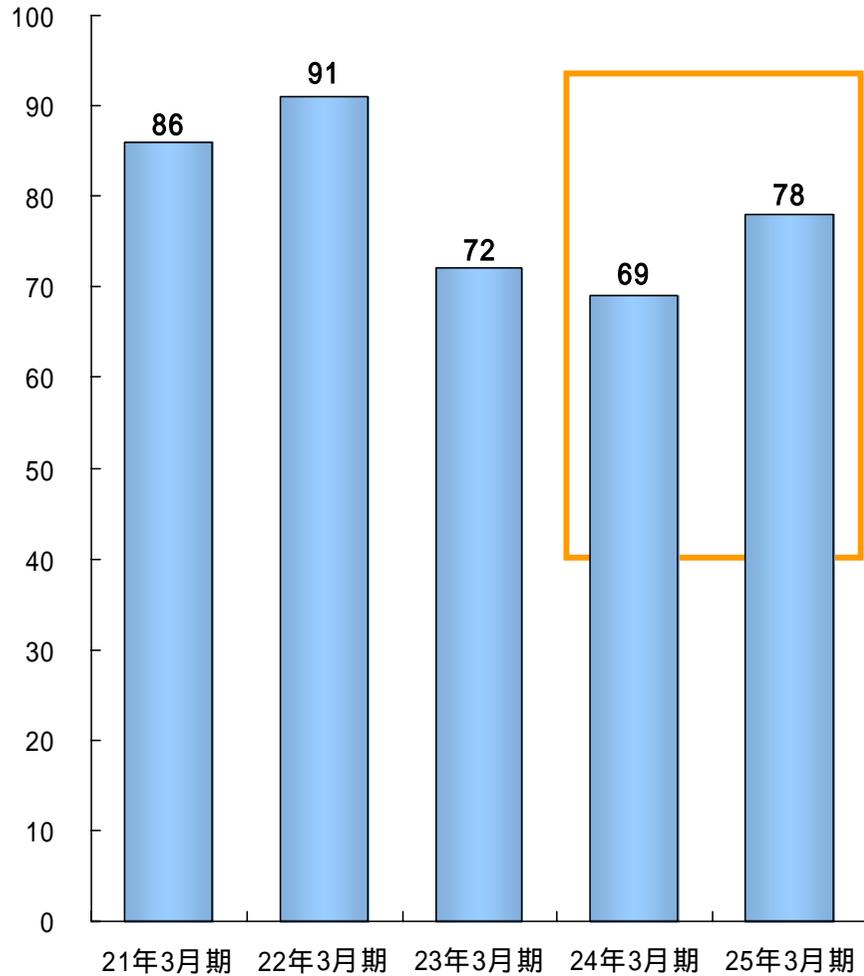
(単位：億円)

	25年3月期	24年3月期	増減
業務粗利益	293	285	+7
<b>預貸金収支</b>	<b>250</b>	<b>237</b>	<b>+12</b>
有価証券利息配当金	24	27	-3
役務取引等利益	13	13	0
国債等債券損益(5勘定戻)	0	3	-2
経費	214	213	0
人件費	101	100	0
物件費	101	101	0
税金	11	11	0
一般貸倒引当金繰入	4	-	+4
業務純益	74	72	+2
実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	78	72	+6
<b>コア業務純益(除く国債等債券損益)</b>	<b>78</b>	<b>69</b>	<b>+9</b>

# コア業務純益の増減要因

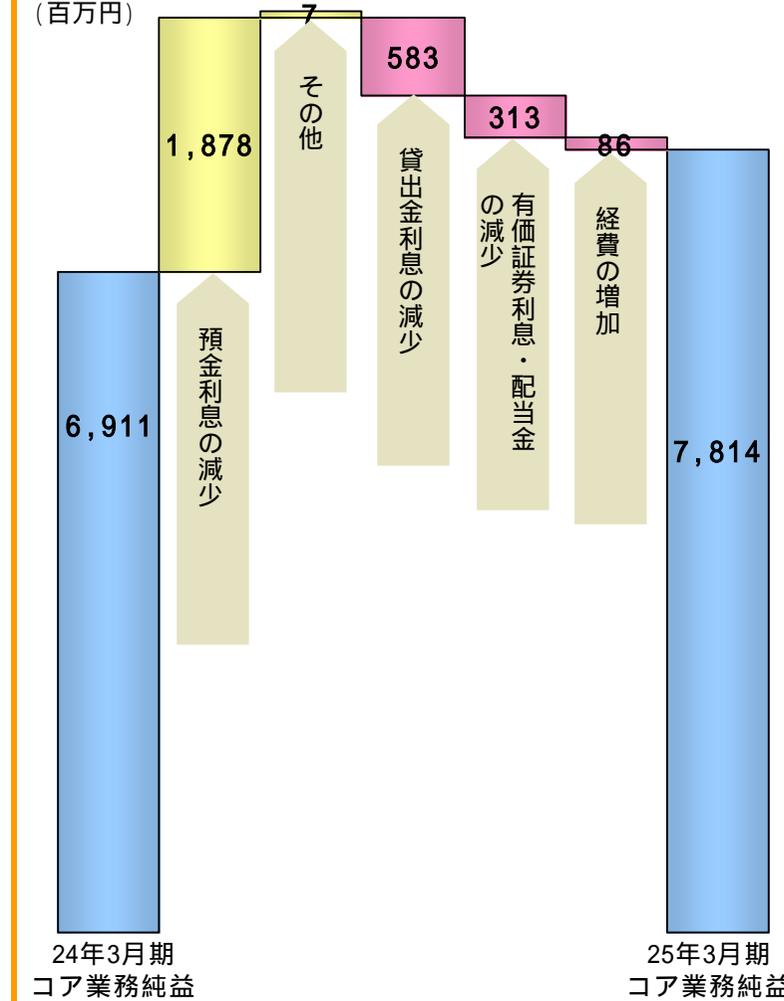
(億円)

## コア業務純益の推移



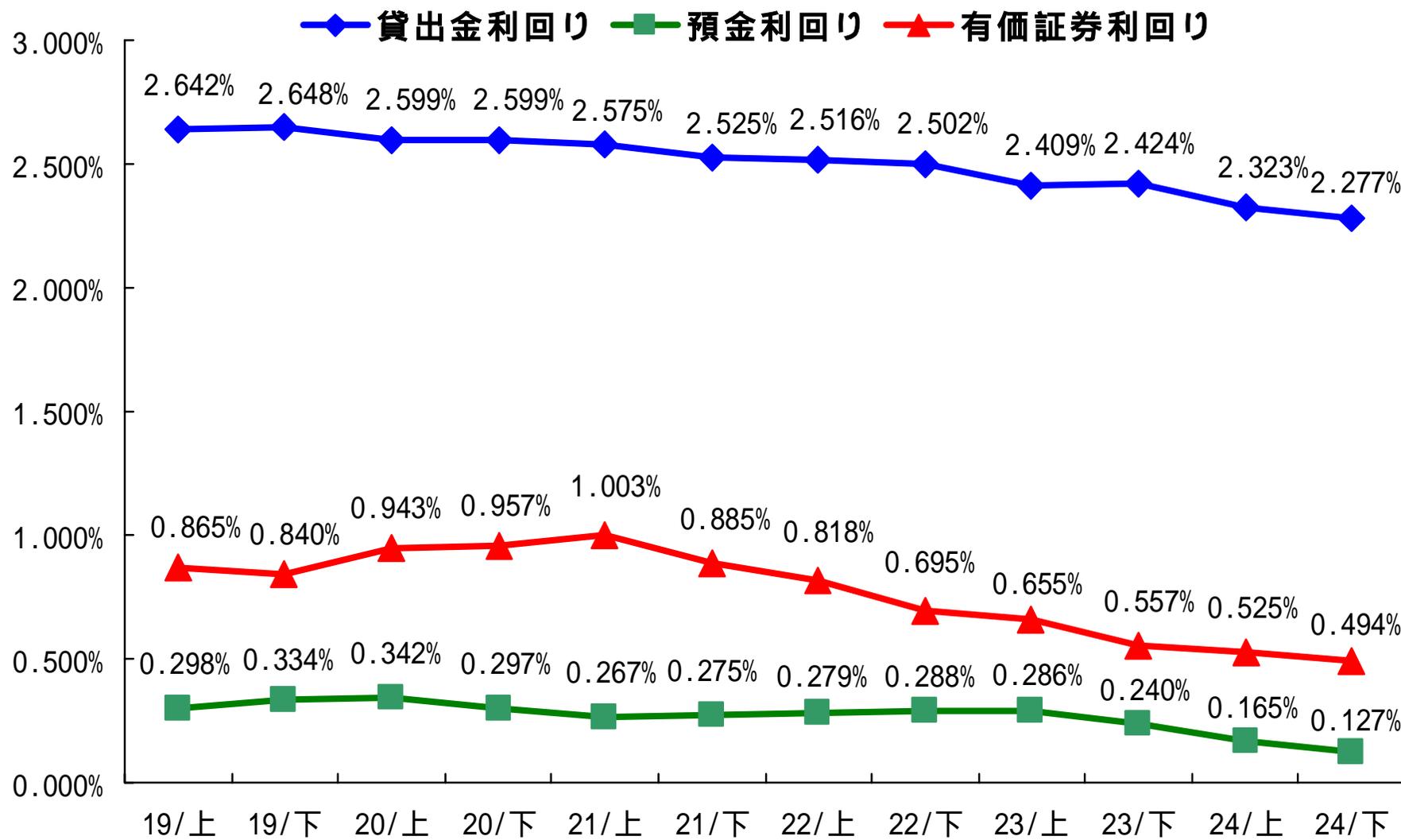
## コア業務純益前年同期比増減要因

(百万円)



# 利回りの推移

## 利回りの推移



# 当期純利益



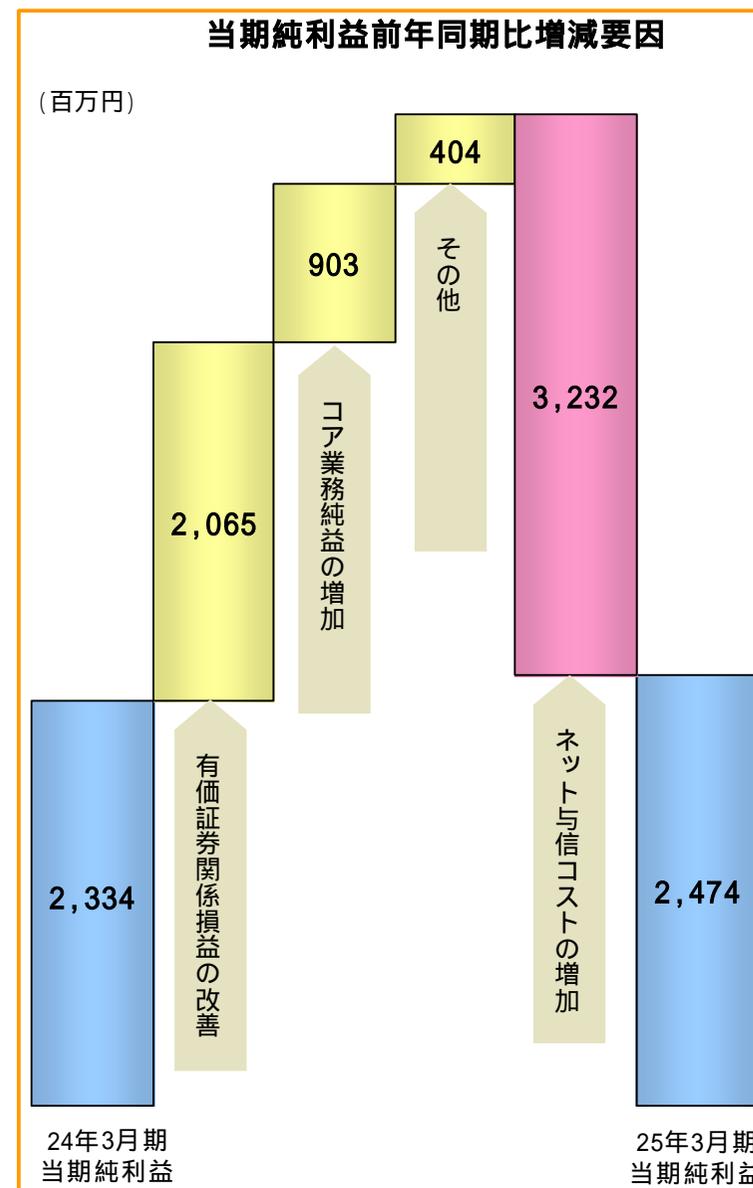
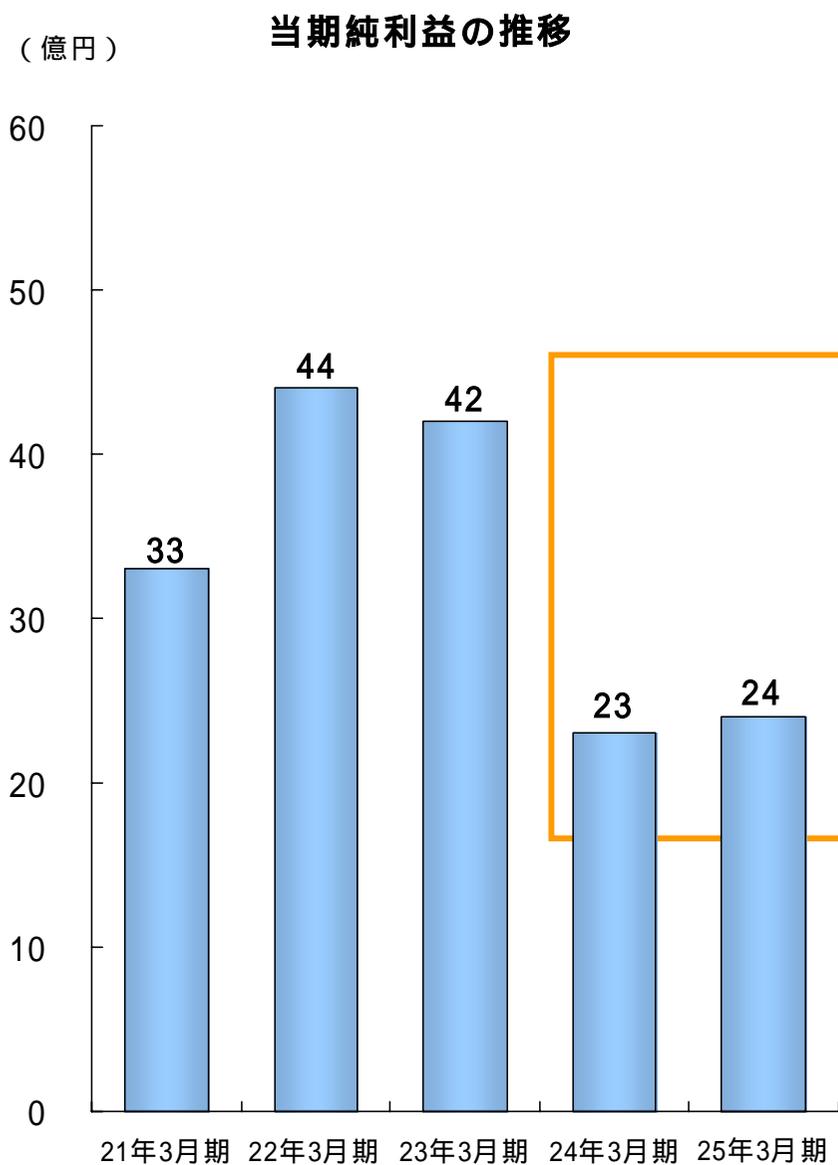
ネット与信コストは前年の反動で増加したが、最終増益を確保

	25年3月期	24年3月期	増減(単位:億円)
<b>コア業務純益</b>	78	69	+9
一般貸倒引当金繰入	4	-	+4
国債等債券損益(5勘定戻)	0	3	-2
臨時損益	-29	-19	-9
不良債権処理額	30	13	+16
株式等損益(3勘定戻)	-2	-26	+23
貸倒引当金戻入益	-	10	-10
償却債権取立益	5	6	-1
経常利益	45	52	-7
税引き前利益	44	52	-7
法人税等合計	20	29	-9
<b>当期純利益</b>	<b>24</b>	<b>23</b>	<b>+1</b>
ネット与信コスト	28	-3	+32

\* 「ネット与信コスト」 = 「一般貸倒引当金繰入」 + 「不良債権処理額」 - 「貸倒引当金戻入益」 - 「償却債権取立益」

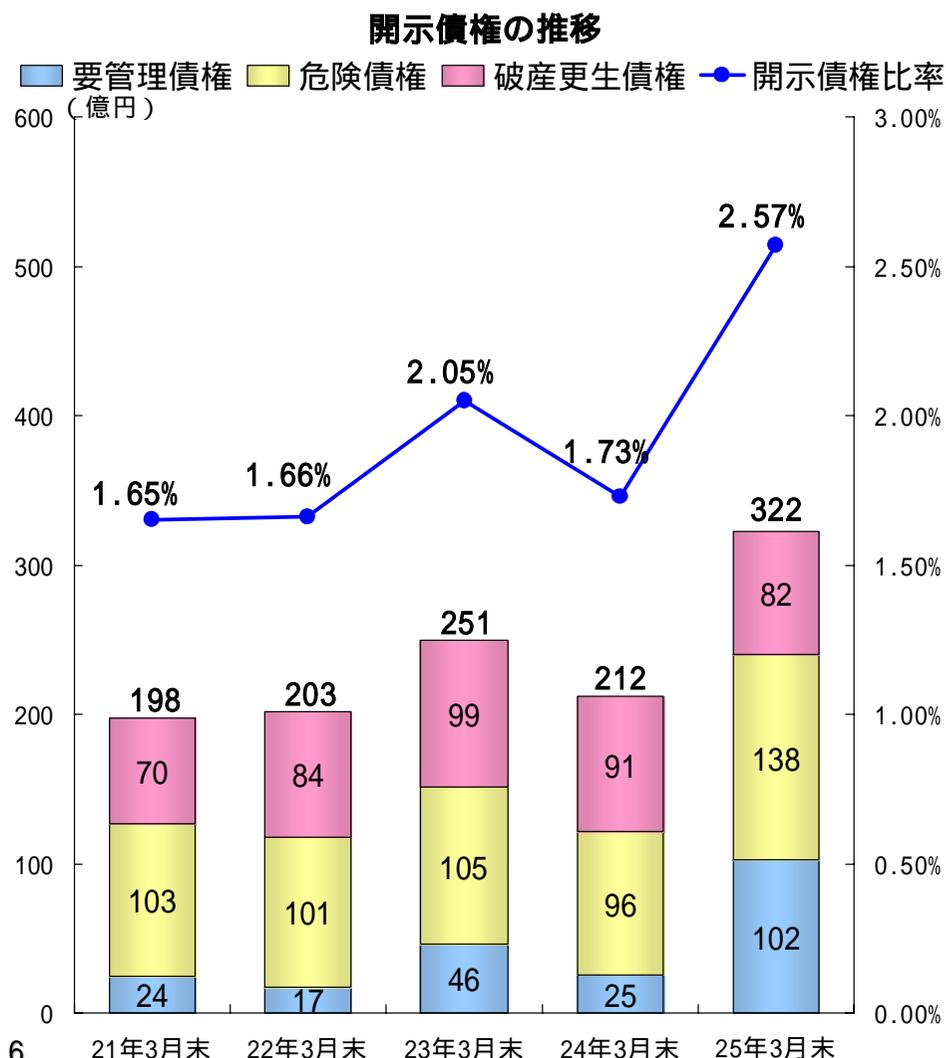
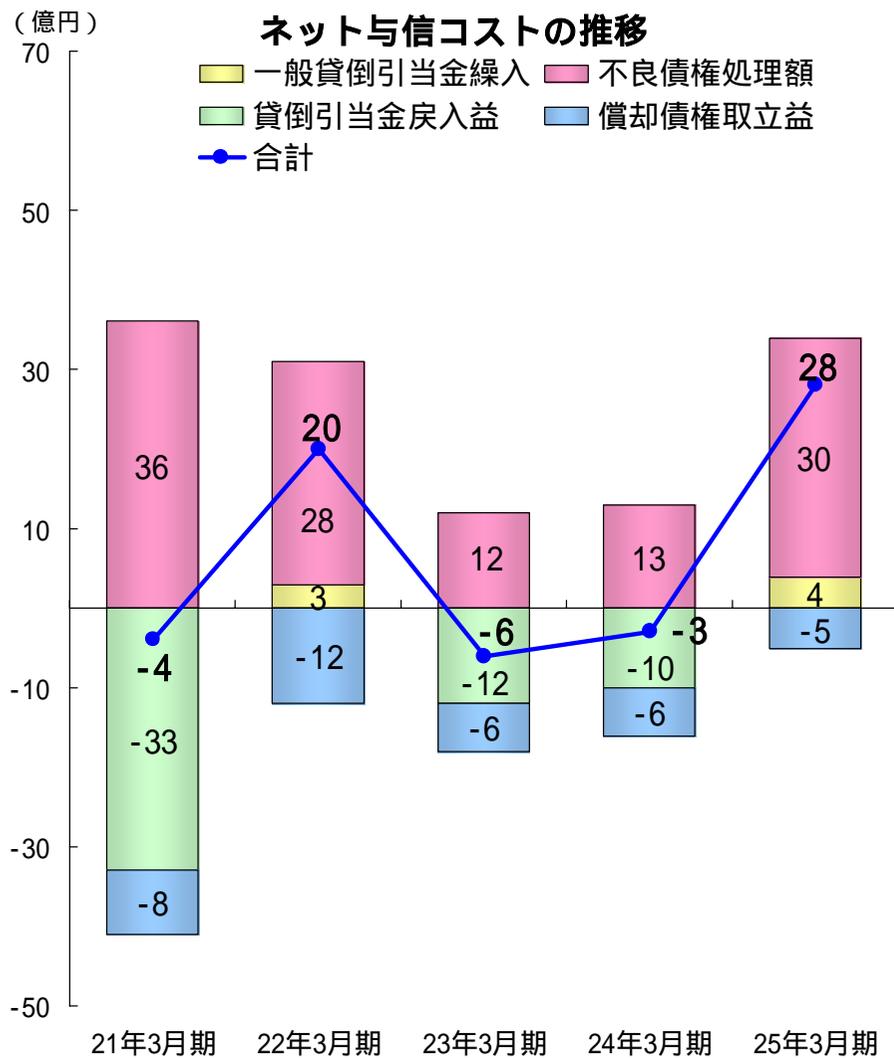
\* 24年3月期は一般貸倒引当金繰入額-14億円と個別貸倒引当金繰入額3億円の合計10億円が取崩超過のため貸倒引当金戻入益に計上

# 当期純利益の増減要因



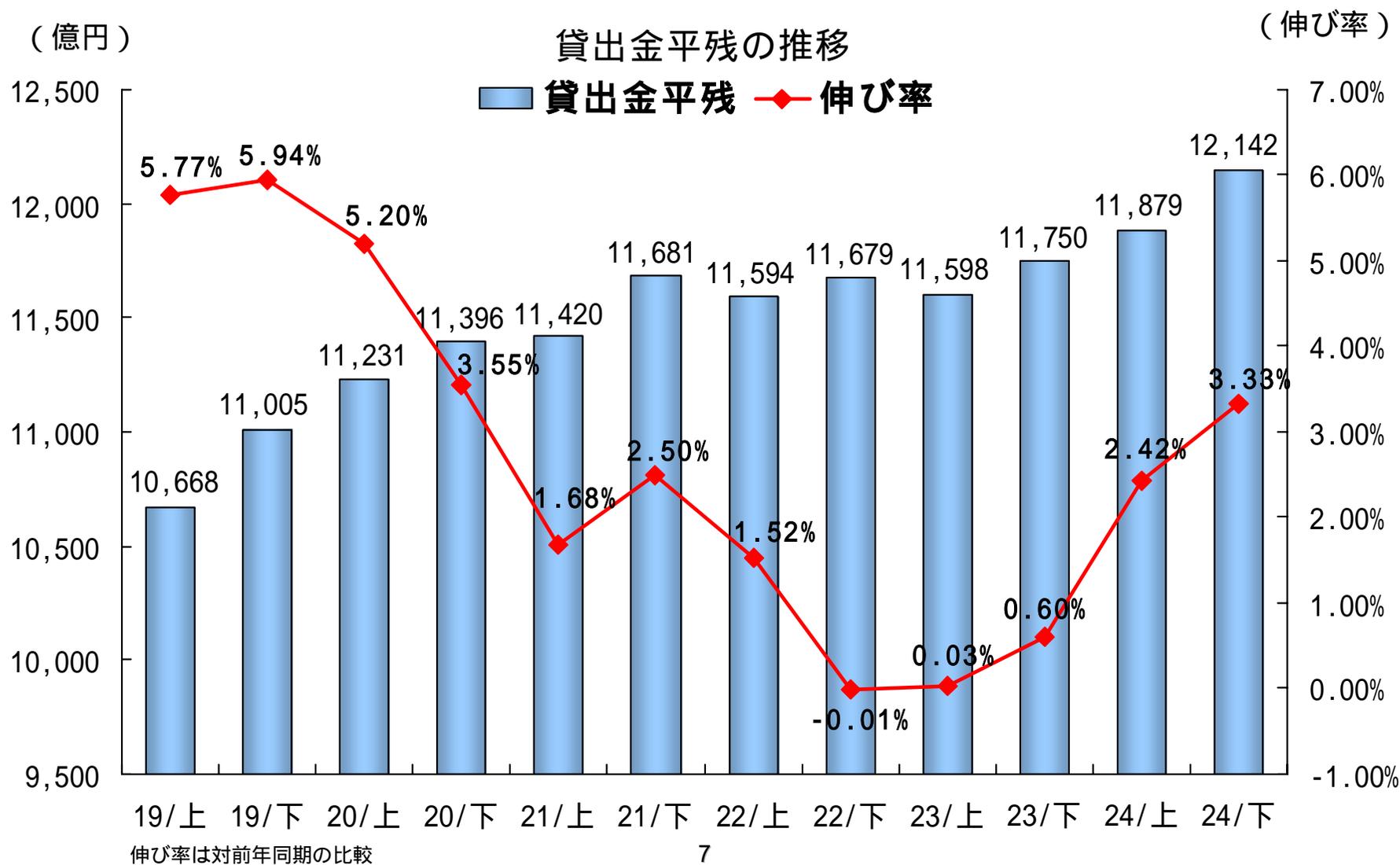
# 与信コスト

## 不良債権処理は巡航速度へ

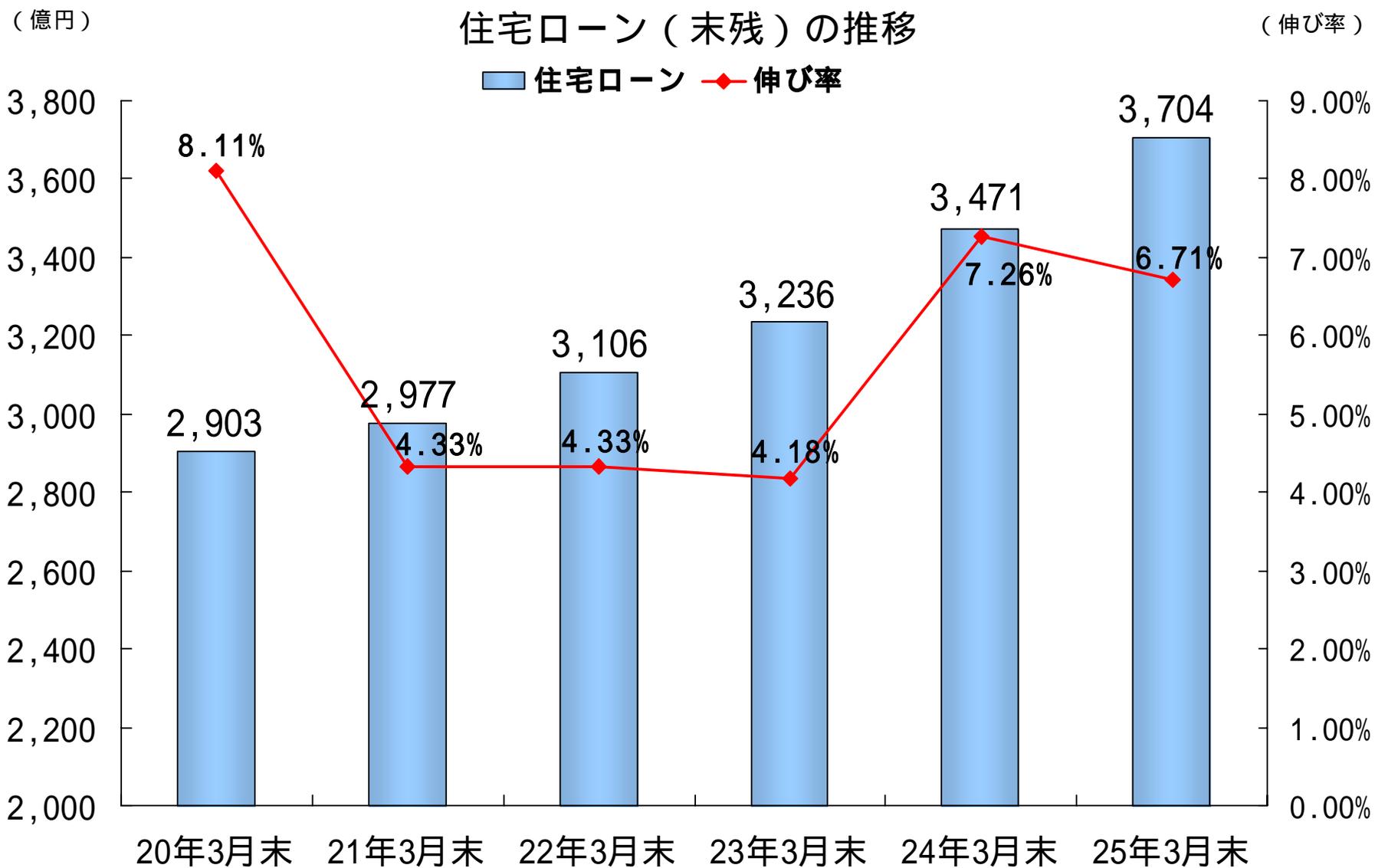


# 貸出金（平残）

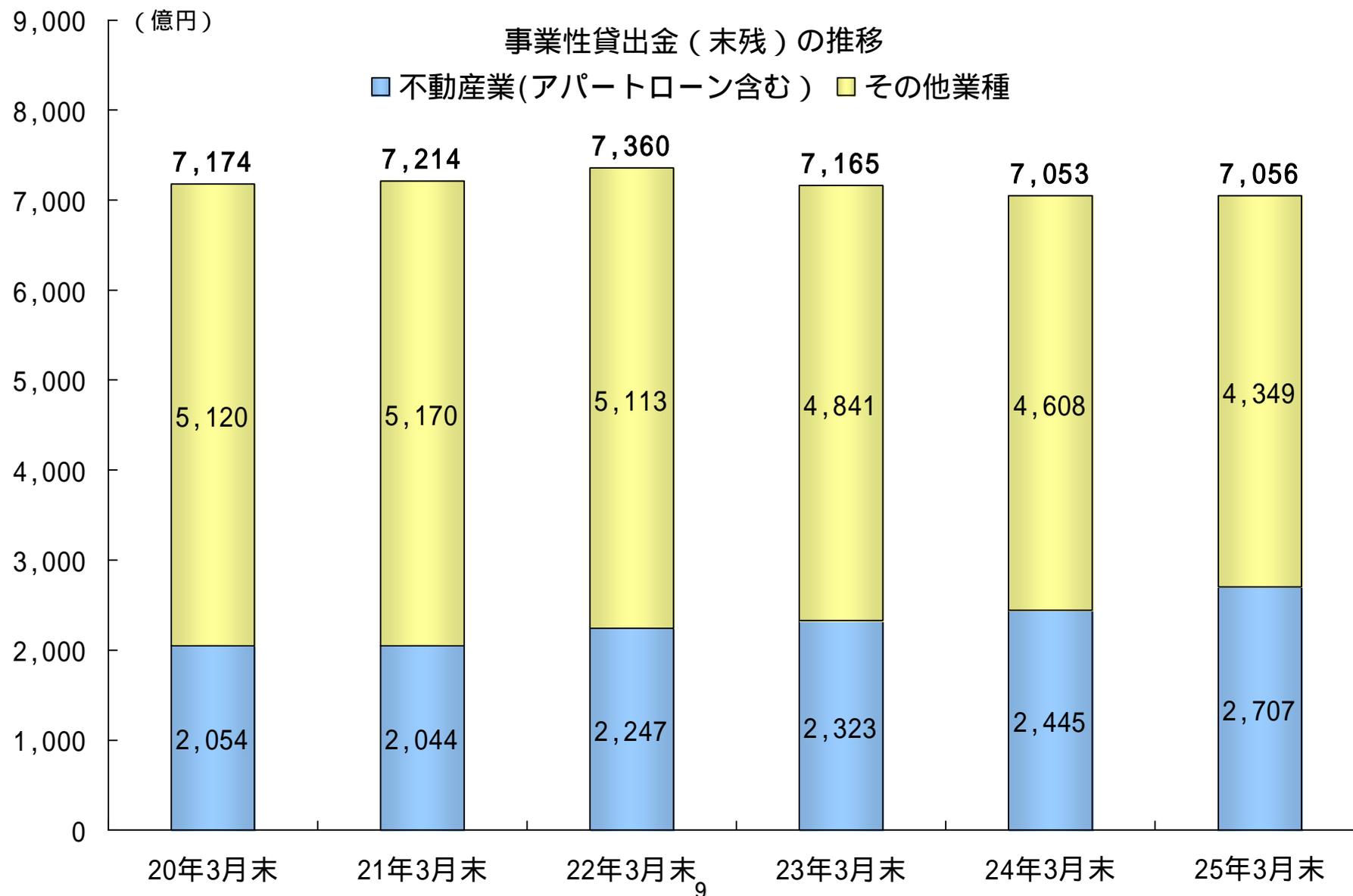
住宅ローンやアパートローンを中心に増加



# 住宅ローン（未残）



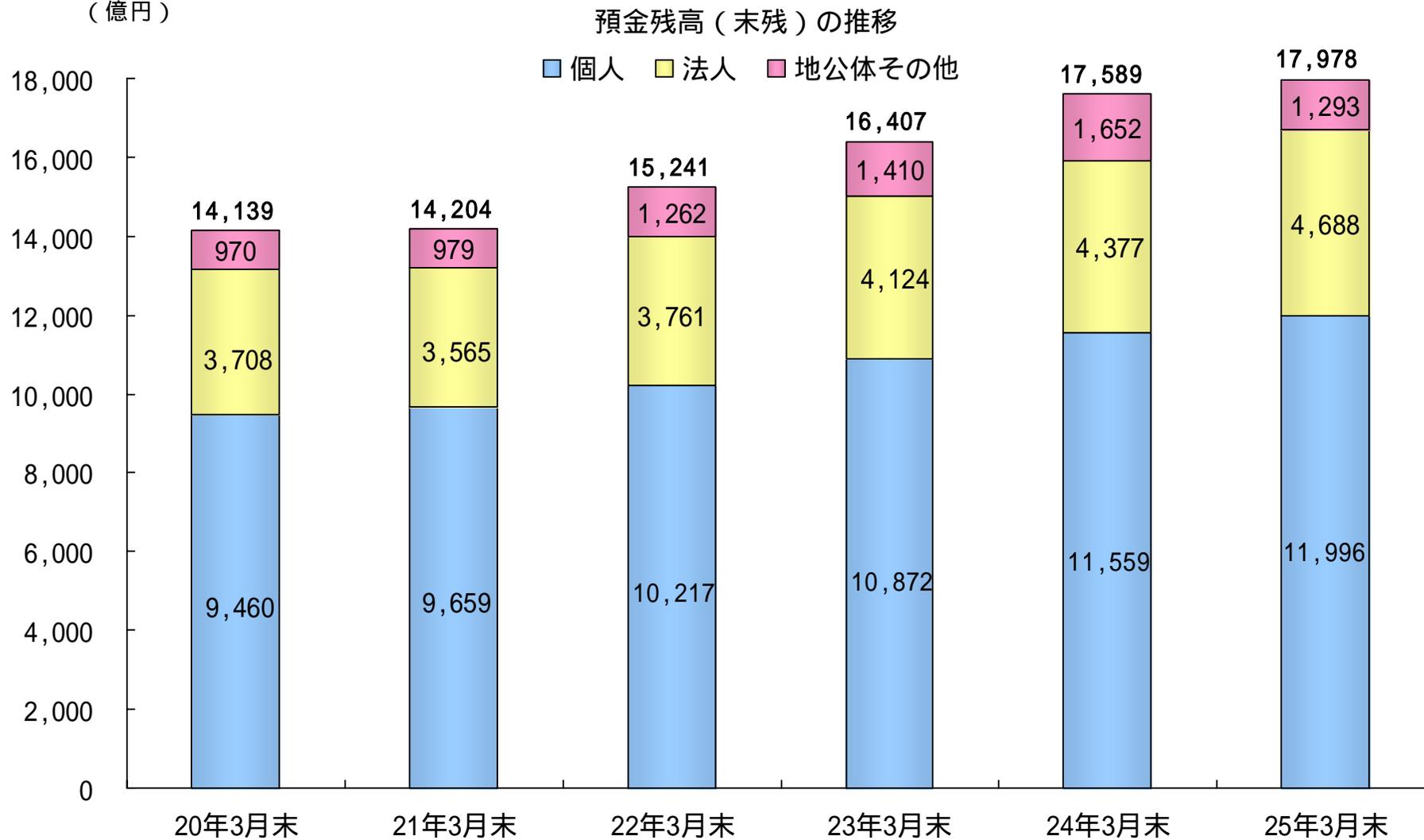
# 事業性貸出金（未残）



# 人格別預金残高（末残）

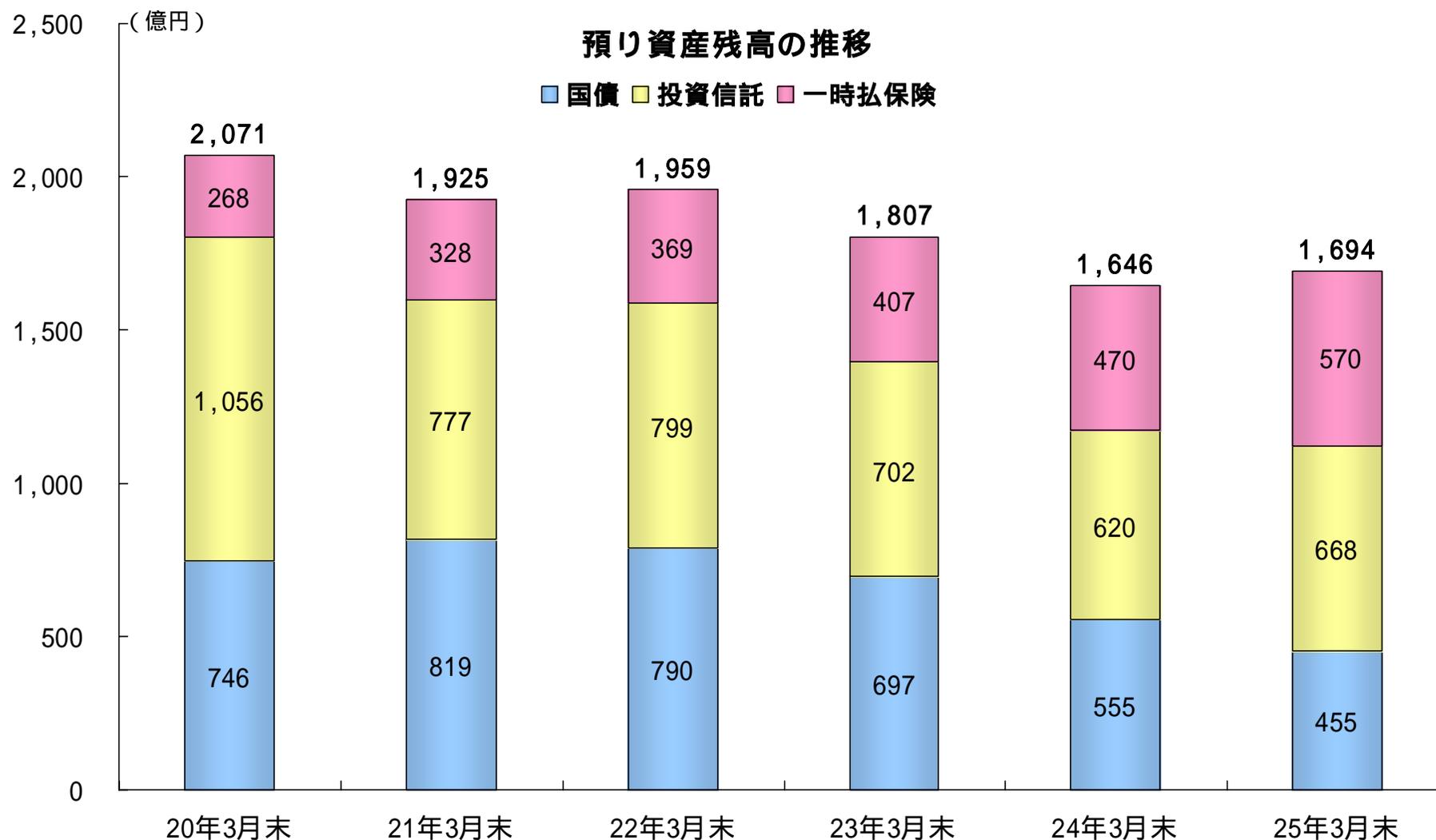
## 個人・法人預金が好調に推移

（億円）



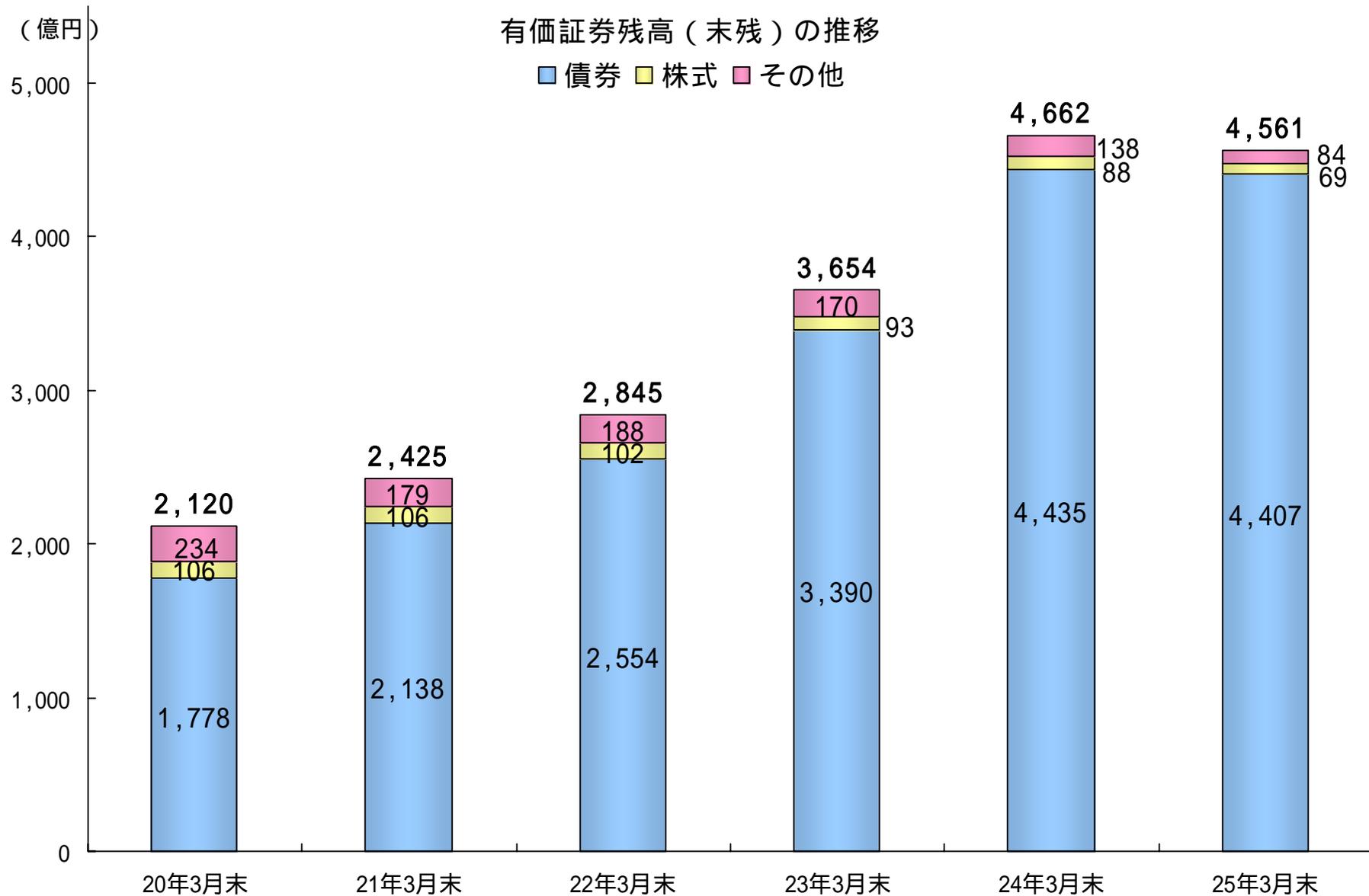
# 預り資産

## 投資信託、一時払保険が増加



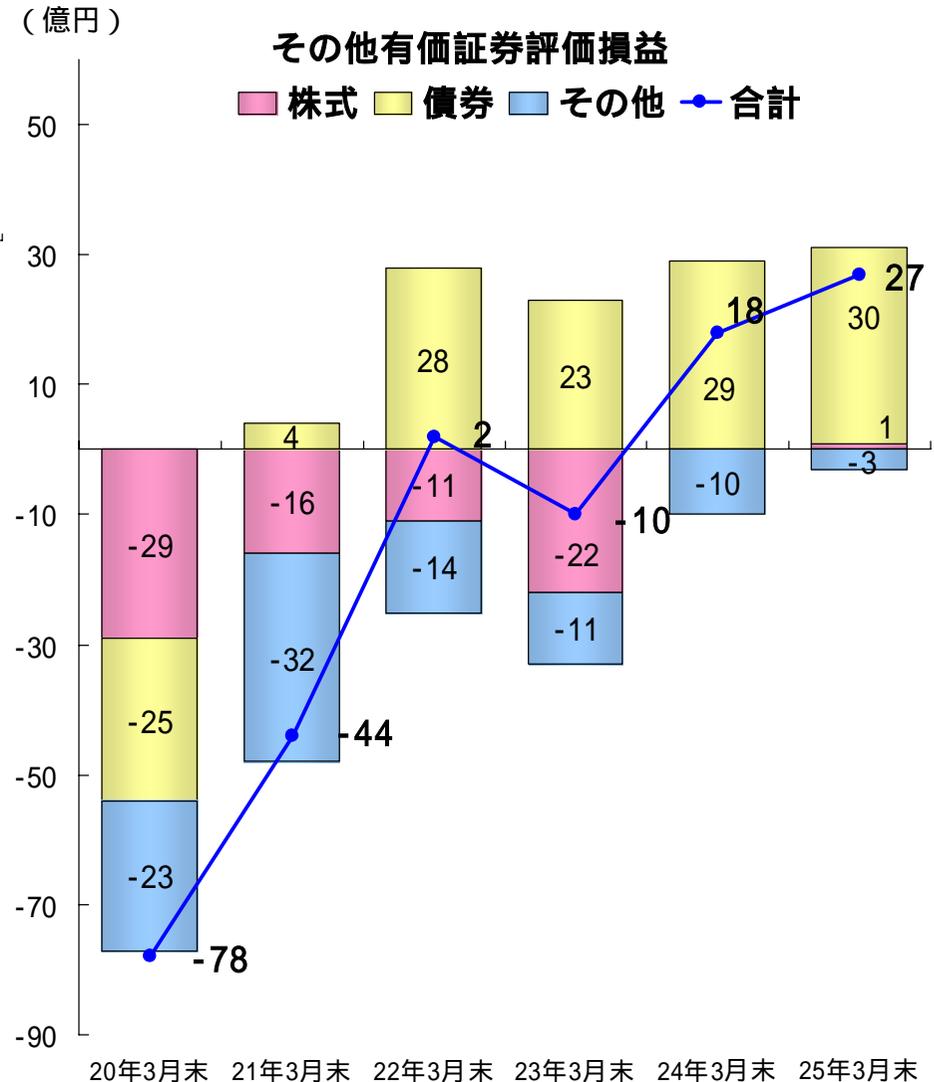
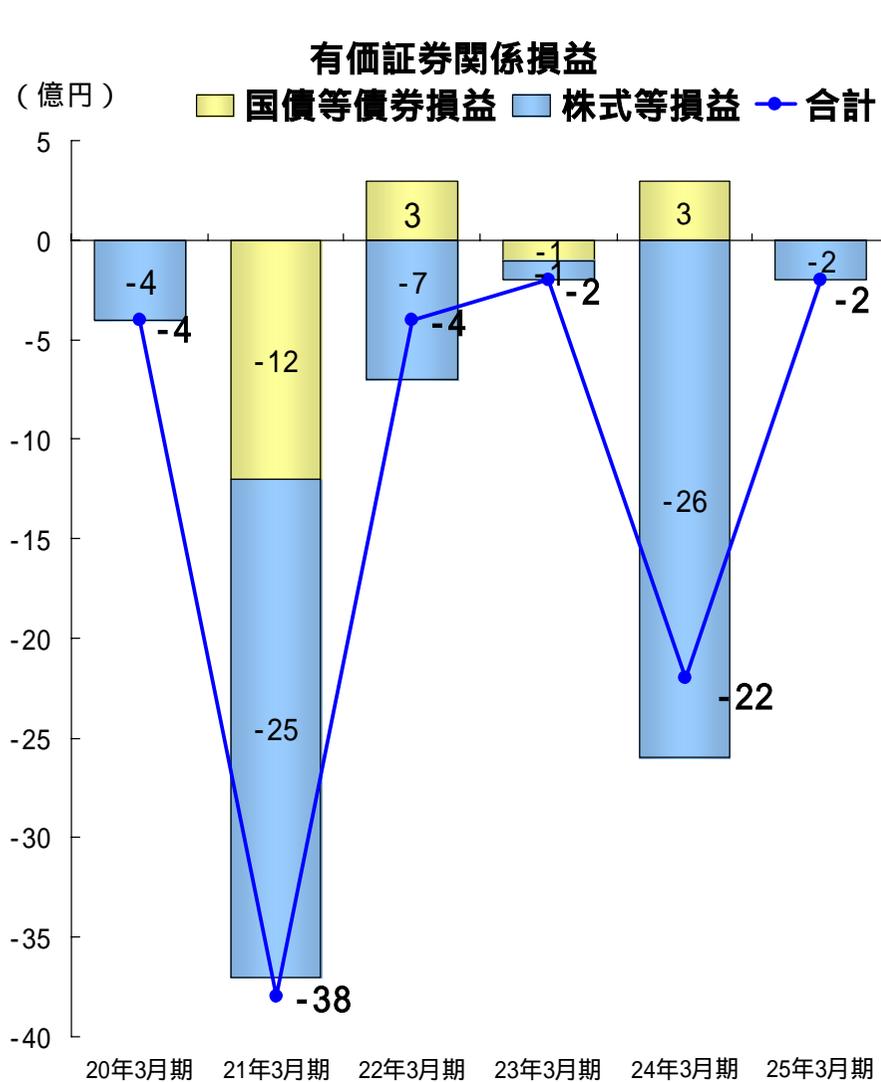
一時払保険：一時払個人年金保険、一時払終身保険、一時払医療保険の契約額

# 有価証券（末残）



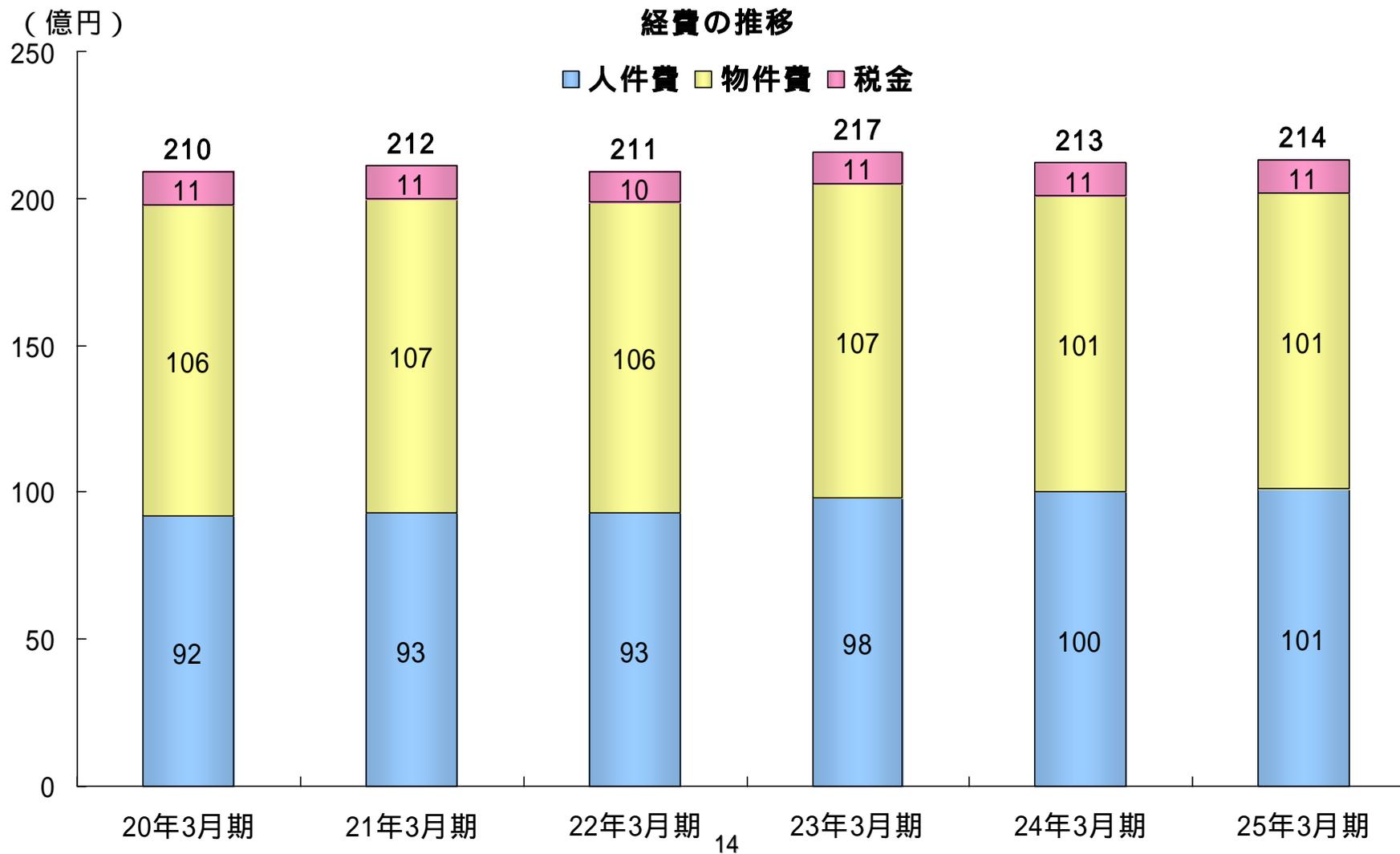
# 有価証券関係損益・評価損益

前年の株式減損の反動で、有価証券関係損益は改善



# 経費

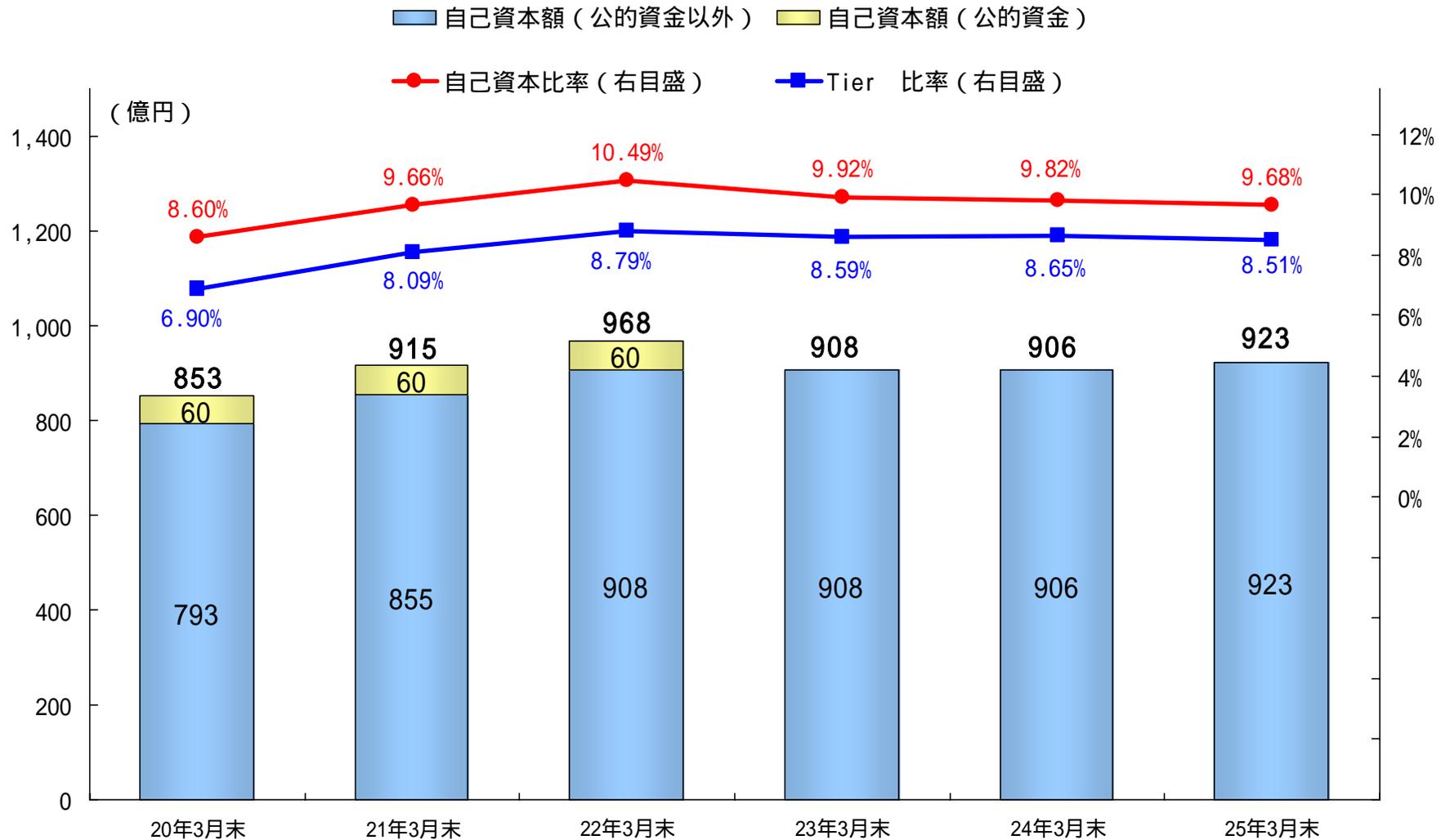
## 経費は前期並みの水準



# 自己資本比率

## 貸出金等リスクアセットの増加により横ばい

### 自己資本比率の推移



# 26年3月期業績の見通し

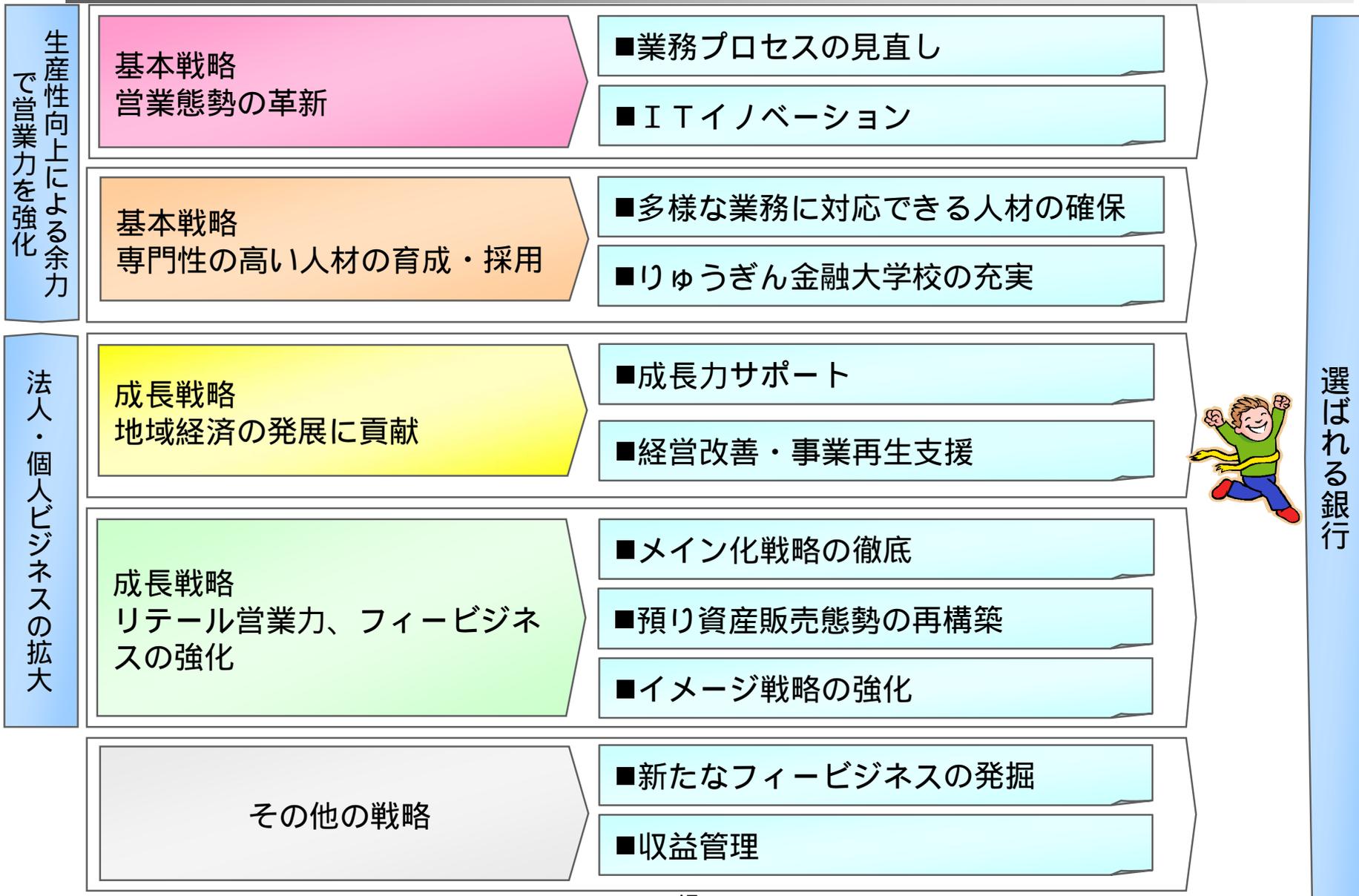


役務収益の改善等で増益を見込む

(単位：億円)

	26年3月期 予想	25年3月期 実績	増減
業務粗利益	293	293	0
コア業務純益	77	78	-1
経常利益	50	45	+5
当期純利益	30	24	+6
ネット与信コスト	30	28	+2
開示債権比率	2%台	2.57%	-

# 平成25年度短計の主要施策



# 基本戦略 (営業態勢の革新)

## ITイノベーション

◆24年4月、融資支援Plusを導入  
◆25年4月、還元帳票を電子化



◆24年10月、本部会議をペーパーレス化



◆24年11月、ActiBookを導入



◆24年11月、投資信託INDEXを導入



(モーニングスター株式会社提供)

◆25年度は、自動審査システム、CRMの導入、コミュニケーションツールの導入を予定



(CRMイメージ画面)

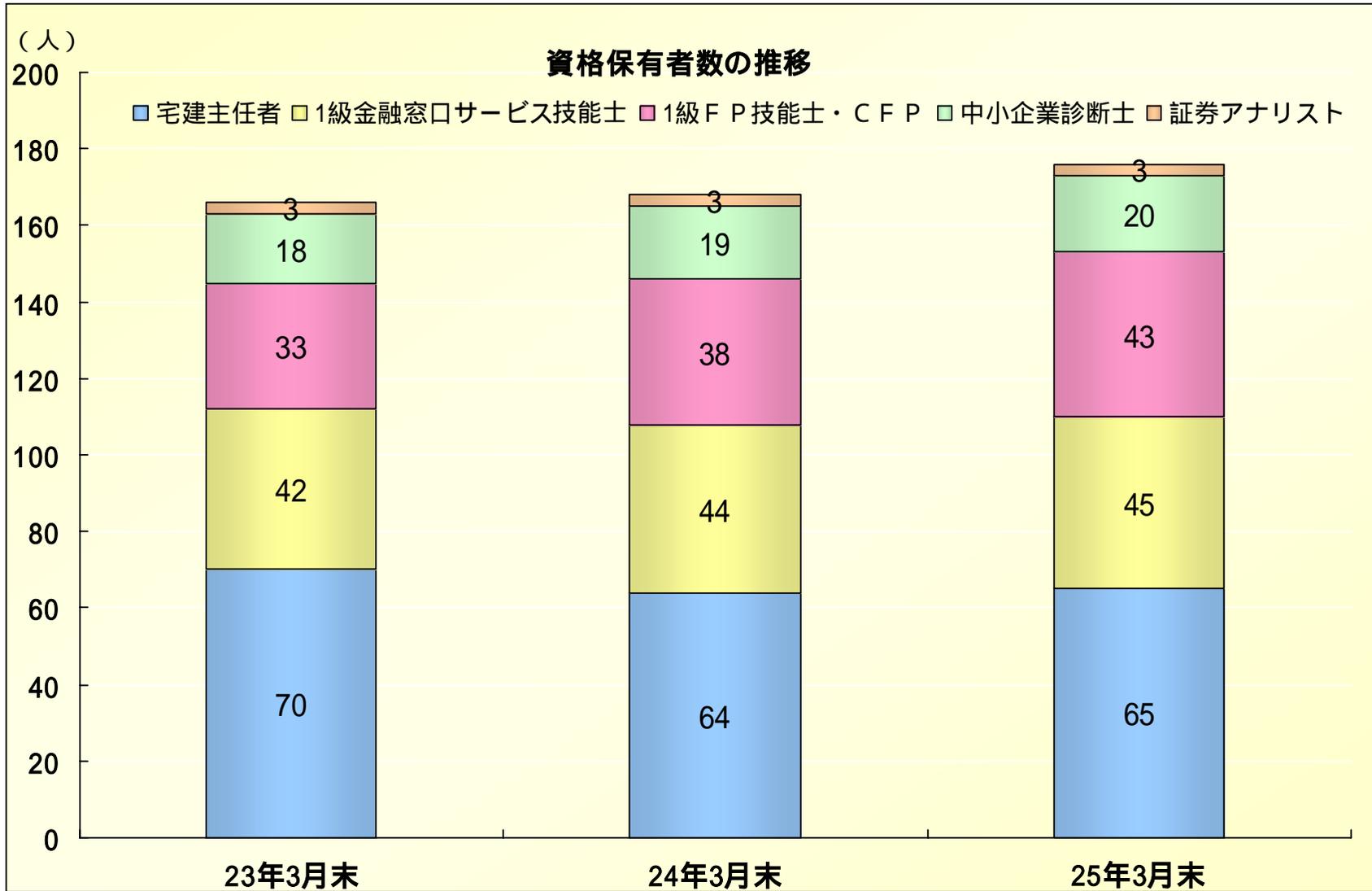


(自動審査システムイメージ画面)

# 基本戦略 (専門性の高い人材の育成・採用)



## りゅうぎん金融大学の充実



# 成長戦略 (地域経済の発展に貢献)

## 成長力サポート

◆24年12月、融資推進3グループを設置し営業店サポートを強化

営業統括部

融資推進グループ

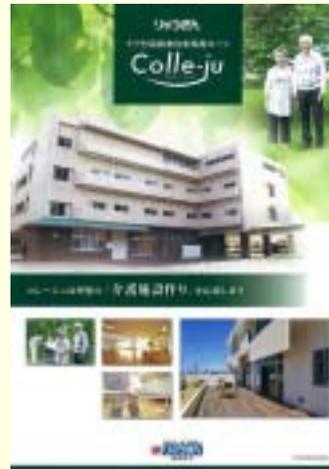
ローンサポートグループ

医療・福祉推進グループ

◆24年8月、太陽光発電設備ローン「ていだパワー」を発売

◆24年8月、ケア付高齢者住宅専用ローン「Colle-ju」を発売

◆24年11月、ビジネスローン「Active+」を発売



# 成長戦略 (地域経済の発展に貢献)

## 販路拡大支援、6次産業化支援

◆25年5月、沖縄海邦銀行、コザ信用金庫と合同で商談会を開催



(イメージ図)



(イメージ図)

◆25年2月、モクモク流農村産業研究所と業務提携を実施



(同社Webサイトより)

◆24年5月、野村アグリプランニング&アドバイザーと業務協力を実施



(同社Webサイトより)

# 成長戦略 (リテール営業力、フィービジネスの強化)

## メイン化戦略、預り資産販売態勢の再構築

◆24年12月、南風原町に南部ローンセンター+ (プラス) を開設



ローンセンター+ (プラス)

個人ローンに加えて、  
保険の相談も取り扱い

◆25年3月、那覇市に真嘉比支店・真嘉比ローンセンター+ (プラス) を開設



## イメージ戦略の強化

◆25年5月、当行ホームページを全面更改



◆25年5月、「第14回まるごと1日りゅうぎんDAY」を開催



## 本資料に係るお問い合わせ先

株式会社 琉球銀行 総合企画部

Tel : 098-860-3787  
Fax : 098-862-3672  
e-mail : [ryugin@ryugin.co.jp](mailto:ryugin@ryugin.co.jp)

本資料は、お断りのない限り単体ベースのデータとなっています。

本資料は、公表データの作成要領に基づき、項目ごとに単位未満切捨てで表示しているため、項目ごとの値と合計とが合わない場合があります。また、前期比や、増減率等の比率は原数値により算出した値を四捨五入で表示しております。

本資料には、当行に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する情報（将来情報）が含まれています。これら将来情報は、あくまで平成25年5月10日現在において入手可能な情報に基づいて判断されたものであり、将来の業績等を保証するものではありません。また、将来情報の記述には一定の前提・仮定を使用しておりますが、かかる前提・仮定は客観的には不正確であったり、将来実現しない可能性があります。その原因となるリスクや不確実性には様々なものが含まれますが、その詳細については当行の決算短信や有価証券報告書等をご参照ください。なお、当行は本資料に含まれる将来情報の更新はいたしません。